

# 731部隊・100部隊・毒ガス戦

今につながる！！

1930年代、日本軍は中国東北地方（『満州』）に、国際法違反の生物兵器・化学兵器を開発・製造するため、秘密部隊を設けました。ハルピンの「731部隊」はその中心的拠点ですが、実は他にもいくつもの部隊が存在し、ネットワークを形成していました。長春に設けられた「100部隊」もその一つです。

戦後、全く裁かれなかった731部隊。その実態も闇に包まれている100部隊。今も被害を与え続けている毒ガス戦のパネルを展示し、遺棄毒ガス被害にも迫ります。

日時：2019年4月29日（月）～5月3日（金）

4月29日（月）13:00～19:00まで

4月30日（火）～5月2日（木）10:00～19:00

5月3日（金）10:00～16:00

場所：かながわ県民センター1階展示場

入場無料（カンパ歓迎）



731 部隊全景（中国ハルピン）



100 部隊の煙突（中国長春）



（広島県大久野島の毒ガス工場）

731 部隊・100 部隊・毒ガス戦展 実行委員会

お問い合わせ 080-4407-9554

（ホームページ）<http://731butaitenn.web.fc2.com>



## 731 部隊

1936 年、中国のハルピン郊外平房に設置され、表向きは兵士にきれいな水を供給する部隊であったが、実際は中国人やロシア人捕虜らに人体実験・生体解剖を繰り返し、強毒な細菌兵器を開発した。寧波や常德などの都市で細菌戦を行い中国人民に多大な被害を与えた。



## 100 部隊

正式名称は「関東軍軍馬防疫廠」。当時の「満州国」首都の新京（現・長春）郊外孟家屯に設置された。表向きは軍馬の衛生管理を目的としていたが、実際には炭疽菌や鼻疽菌等の細菌研究をして、馬、牛、羊などに対する細菌戦の実験・実戦部隊であった。人体実験も行われた。日本の敗戦時に 731 部隊と同じく徹底した部隊の破壊・証拠隠滅が図られ、謎の部隊とされてきた。2018 年冬、長春の偽満皇宮博物院に「100 部隊」の展示館がオープン、今後の研究が期待されている。



## 毒ガス戦

日本軍は東アジア全域で、国際法違反の毒ガス戦を行った。広島の大久野島でイペリット、ルイサイト、青酸ガスなどを大量に生産、九州の曾根で砲弾に充填した。中国大陆では民衆に対しても使用した。敗戦後、戦犯に問われることを逃れるため毒ガス兵器を不法に遺棄した。現在も遺棄毒ガス弾による被害が続いている。日本政府は、中国大陆に遺棄した毒ガス弾の廃棄責任を負って作業を継続しているが未だに完了していない。毒ガス戦の今に至る課題を考える。

### ミニ講演（展示会場にて） 14:00～16:00

4 月 30 日（火）	731 部隊について	奈須重雄さん
5 月 1 日（水）	100 部隊の謎	今井雅巳さん
5 月 2 日（木）	遺棄毒ガス弾について	南典男さん